



2023年度 市政懇談会
＜町田第一地区町内会・自治会連合会＞

次 第

[日時] 2023年11月1日(水) 18:30 ～ 20:00

[場所] 文学館 大会議室

司会進行： 市民協働推進担当部長 横山 法子
町田第一地区町内会・自治会連合会 副会長 熊坂 恵司

○ 連合会長の挨拶

町田第一地区町内会・自治会連合会 会長 平本 勝哉

○ 市長の挨拶

町田市長 石坂 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 中心市街地の整備計画について

【経済観光部】 【道路部】 【都市づくり部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 町田第一地区町内会・自治会連合会 立木 宏治

2023年度 町田第一地区町内会・自治会連合会 市政懇談会 議事録（要旨）

[日 時] 2023年11月1日（水）18：30～20：00

[場 所] 文学館 大会議室

[出席者] 町田市長 石阪 丈一

経済観光部長 唐澤 祐一

道路部長 萩野 功一

都市づくり部都市整備担当部長 平本 一徳

防災安全部長 大貫 一夫

市民部市民協働推進担当部長 横山 法子

町田第一地区町内会・自治会連合会長 ほか11名

事務局 市民部市民協働推進課 5名

司会進行：市民協働推進担当部長

町田第一地区町内会・自治会連合会副会長

○連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1（1） 中心市街地全体の計画の概要

中心市街地では、多摩都市モノレールの新たな起終点となることも踏まえた開発が進められています。一方で既存の都市計画があり整備が進められています。町田第一地区の住民としては、既存の計画とモノレールの起終点となることも含めた新たな計画が一体的に進められ、住環境がどのように変わっていくのかを注視しております。

町田市行政による中心市街地の整備計画の全体像をお聞かせください。

（2） 原町田中央通り及び原町田大通りの沿道空間を活用した社会実験の結果と社会実験の結果を踏まえた今後の展望

原町田中央通り及び原町田大通りの沿道空間を活用した社会実験の結果と社会実験の結果を踏まえた今後の展望についてお聞かせください。

（3） 原町田大通りの歩道の拡幅に関する計画の概要

原町田大通りの歩道の拡幅に関する計画の概要（内容、スケジュール、交

通規制の情報、車道の増減、渋滞対策等)についてお聞かせください。

(4) 文学館通りを含めた中心市街地における回遊性の向上に関する計画

文学館通りを含めた中心市街地における回遊性の向上に関する計画の概要(内容、スケジュール、交通規制の情報、車道の増減、渋滞対策等)についてお聞かせください。

(5) 原町田中央通り及び文学館通りの無電柱化の計画概要

原町田中央通り及び文学館通りの無電柱化の計画の概要(内容、スケジュール等)についてお聞かせください。

【回答】

経済観光部長

議題1の(1)中心市街地の整備計画の全体像についてお答えいたします。

中心市街地全体の計画といたしましては、2016年度に地域の方々と策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」に基づいて事業を進めております。

この計画では、中心市街地の将来の姿を、賑わいや交流にあふれ、楽しい時間や新しいこと、人々の出会いや活動のつながりが広がり続けるような「夢かなうまち」と掲げ、10のプロジェクトを推進しています。

それぞれのプロジェクトを大きく4つにグループ分けて進捗をご説明いたします。

初めに、プロジェクト1・4・7の町田駅周辺の開発についてでございます。このプロジェクトでは、大規模店舗等の更新や土地の高度利用など駅周辺の開発を進め、魅力ある駅前空間づくりに取り組んでいくこととしています。プロジェクト推進にあたり、市の組織体制として、2023年4月には、地区街づくり課中心市街地開発推進室を発足させました。現在、整備の指針となる「(仮称)町田駅周辺整備計画」策定に向けた検討を進めております。

2つ目といたしまして、プロジェクト2・6・10として、通りを活用した賑わいづくりのプロジェクトです。原町田大通り、原町田中央通り、文学館通りは、賑わいのある、歩いて楽しい通りにしてまいります。具体的な事業内容は後ほどの議題で述べさせていただきます。

3つ目は、プロジェクト3・9の、芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアムについてでございます。中心市街地に隣接する緑豊かな都市公園である芹ヶ谷公園に、美術館での美術品の鑑賞だけでなく、町田の多様な文化芸術の活動、公園の豊かな自然を体験しながら学び楽しむことができる「芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム」の整備を進めています。(仮称)国際工芸美術館については、2026年度中の開館を目指し事業を推進して

おります。

最後に、プロジェクト5「南の玄関口のまちづくりプロジェクト」についてです。このプロジェクトは、築40年以上になる市営駐車場の老朽化対策を含め、JR町田駅の南側を「町田の南の玄関口」として再整備する計画でございます。現在、駐車場の建替えと合わせ、周辺用地も含めた一体的な土地活用について、庁内での検討を進めているところでございます。

議題1の(2)原町田中央通り及び原町田大通りの沿道空間を活用した社会実験の結果と社会実験の結果を踏まえた今後の展望をお答えいたします。

まず、原町田中央通りについてお答えします。原町田中央通りでは、2021年度から沿道のセットバック空間を賑わいづくりに活用するための社会実験としまして「まちだウィークエンドストリート（通称まちスト）」を実施しています。

2022年度に実施した社会実験においては、来街者の方から「今後も継続してほしい」といった評価が得られた一方で、取り組みの認知度の低さと、継続的な運用体制づくりの2つが課題であると認識しています。

このため、2023年度は、一年を通じて定期的に、この「まちスト」を開催することで認知度を高め、加えてSNSの活用や専用ホームページによる取組の紹介等の情報発信にも力を入れているところです。

また、継続的な運用体制づくりへの第一歩として、関係者と町田市にて実行委員会を立ち上げ、社会実験の企画・運営・検証を行っております。

今後につきましては、引き続きこの社会実験を実施し認知度を高めていくとともに、運用体制の検証と見直しを図り、まちの賑わいにつなげてまいります。

次に、原町田大通りににつきましては、2020年度に車線規制による交通影響調査、2021年度、2022年度は滞留空間を設け、大通りにおける憩いと賑わい空間の創出に向けた社会実験を実施しました。結果、この場所で休憩、飲食、読書など様々な使い方がなされ、普段の大通りでは目にすることのない賑わいや交流がされておりました。また、大通りに休憩場所や座れる場所があるとうれしい、という意見が多くありました。

一方、滞留空間に設置した「高さのある看板」や「トレーラーハウス」により、近隣店舗の視認性を低下させてしまいました。また、集客を目的とした音楽イベントなどでは、「音がうるさい」、「歩道に人だまりができ通行しにくい」、といった苦情をいただくなど、反省点もございます。

これらのことを踏まえ、現在、滞留空間の位置、設置物の設計を行い、工事発注に向けた準備を進めております。原町田大通り滞留空間等整備工事の完成は、2025年1月を予定しています。

議題1の(3)原町田大通りの歩道の拡幅に関する計画の概要について、お答えいたします。

原町田大通りの歩道の拡幅に関する計画の内容としましては、原町田大通りの歩道を拡幅した区間に滞留空間と荷捌きスペースを整備することとしております。

歩道を拡幅する区間としましては、JR町田駅前北交差点から浄運寺前交差点の間です。

滞留空間の場所としまして、大きく2箇所ございます。1箇所は、(資料内)「A」としている、JR町田駅前北交差点から原町田中央通り交差点区間、TNスクエアビルとアエタ町田ビル前、もう1箇所が(資料内)「B」としている、グレスト町田ビルの前です。この2箇所において、歩道を拡幅し、ベンチ等を設置して滞留空間とします。

(資料内)「緑」の色塗り箇所は歩道を拡幅します。歩道の幅員は現在の2mから拡幅後は4mから、滞留空間Aのところで、6mとなります。

荷捌きスペースは、全7箇所設けます。位置としましては、(資料内)「赤」で示しております、「A」としているところに1箇所、原町田中央通り交差点の先に3箇所。反対側の消防器具置き場付近に1箇所、町田センタービル前に2箇所設置します。

スケジュールといたしましては、現在、工事発注に向け設置物等の設計を行っており、2023年度中に契約、2024年4月に工事に着手し、2025年1月の完成を予定しています。

また、(資料内)「C」の場所は、2023年度中に、まずはベンチにおいて、ポケットパークとして整えます。将来的には、植栽や照明などを検討しています。

あわせて、(資料内)「D」になりますが、民間交番の建替えも行います。現在、新たな役割、機能を検討しつつ、建物の設計を進めております。

最後に、交通規制についてでございますが、整備完了後の原町田大通りは、町田街道側から来ますと、浄運寺交差点のところが、左折専用レーンになります。その先、浄運寺前交差点からJR町田駅前北交差点の間は、歩道や滞留空間、荷捌きスペースの設置により、片側1車線となります。

警視庁との協議においては、現在の交通量からは渋滞等、大きな混乱は生じない想定であり、特段の交通規制の予定はございません。

都市づくり部都市整備担当部長

議題1の(4)「文学館通りを含めた中心市街地における回遊性の向上に関する計画」についてお答えします。

文学館通りにつきましては、「町田市都市づくりのマスタープラン」において、「ウォーカブルなまちなか」を実現するエリアの1つに位置づけ、こ

れまで、地域の皆様と長年にわたり、通りを一方通行化し、ウォークブルなまちへと転換するお話しを行ってきたところでございます。

おかげさまをもちまして、沿道の皆様や地域の方々のご協力を得て、ようやく整備に着手できる状況になって来たところでございます。ご協力いただきました皆様方に対しましては、この場をお借りして御礼申し上げます。

この文学館通りの整備に当たりましては、歩行者が安全・快適に歩ける空間整備を第一に、車道の一車線化を実現し、歩行空間を広げる他、無電柱化により、歩きやすい環境を整え、通りの景観や防災性の向上を図ってまいります。

この通りの整備を通じて、町田市民文学館をはじめ、町田ターミナルプラザや芹ヶ谷公園などへのアクセスが、より快適で楽しいものとなってまいります。

また、原町田大通りや原町田中央通りへの回遊性の向上を実現し、ひいては、中心市街地全体の回遊性を高める歩行者ネットワークとして機能することを、期待しているところでございます。

道路部長

議題1（5）原町田中央通り及び文学館通りの無電柱化の計画概要についてお答えします。

まず、原町田中央通り（町田835号線）の無電柱化につきましては、原町田大通りから文学館通りのまでの延長約292mの区間と、地上機器を設置するため、原町田大通りに併行する町田54号線及びサウスフロントタワー西側の町田41号線を合わせた総延長約414mの区間を整備します。

進捗状況としましては、今年9月に第1期工事を契約し、概ね11月下旬から工事に着手する予定です。今年度の工事箇所としましては（案内図の赤色でお示しした）、町田835号線のサウスフロントタワー南側と町田41号線側を合わせた157mの電線共同溝の設置と、町田54号線の北側に電線共同溝のマンホールの設置工事を行います。

今後の予定としましては、無電柱化工事を2027年度まで行い、その後、排水施設、舗装、街路灯等の工事を実施し、2029年度の完了を目指して事業を進めてまいります。

次に、文学館通り（町田37号線）は、町田街道から原町田中央通りまでの延長約290m区間について、無電柱化と歩道の拡幅整備を行います。併せて、文学館南側の町田26号線についても、地上機器を設置するための整備を行います。町田街道からサウスフロントタワーの北側、町田18号線との交差点までの区間（位置図の赤色でお示しした区間①）につきましては、町田街道からバスターミナル方向への一方通行とし、同区間の道路の幅員構成につきましては、歩道を1.5mから2.5mに、車道を6.5mから4.

5 mに変更いたします。

その南側のサウスフロントタワー北側交差点から原町田中央通りまでの区間（位置図の青色でお示した区間②）につきましては、歩道を1.5 mから2.0 mに、車道を相互通行のまま6.5 mから5.5 mに変更してまいります。

進捗状況としましては、今年度は、主に電線共同溝の設計を進めており、現在、地下埋設物を調査するための試掘工事が完了した段階です。

今後の予定としましては、2025年度から幅員構成の変更と無電柱化の工事に着手する予定で、2029年度の工事完了を目指し事業を進めてまいります。

《質疑》

原町田六丁目町内会六生会

原町田大通りの計画について質問させていただきます。

まず1点、モノレールができる仮定でお話しさせていただきますが、当然、モノレールが原町田大通りへ来るといふ計画になっていると思うのです。そのときに、モノレールは上を通りますので、当然橋桁ができるわけです。そうすると、あの大通りに橋桁ができて、今の計画でいくと1車線ずつ2車線がなくなるわけです。果たして1車線でこれが賄えるのかどうか、その整合性はできているのでしょうか。

道路部長

原町田大通りにモノレールが入ってくるという前提で柱ができてきます。柱は20～30 mに1本できると思っておりますが、現在の原町田大通りの総幅員は25 mくらいあります。橋桁自体は2 mくらいの幅になりますので、多分車線は片側1車線になります。ただ、中には2車線のところもあります。その辺は最終的に構造が決まらなないと、1車線か、2車線かは明確ではありません。また、歩道と車道の幅員構成の違いによっても、取り方が変わってきますので、幅員構成も含めて今後東京都と協議をすることになると考えています。

原町田四丁目第二町会

多分調整をすれば大丈夫だろうという予測があるからというお答えでよろしいのでしょうか。

道路部長

それは今の拡幅の部分ですか。

原町田四丁目第二町会

そうです。要は足らなくなってしまうのではないかという心配です。

道路部長

現状としましては、拡幅しても車道幅員が取れていますので、今の見立てで大丈夫だろうと思っております。

原町田四丁目第二町会

詳細はもう少し情報がないと分からないけれども、現状では1車線化になっても柱が入ってきても大丈夫だろうということでやっていらっしゃるということによろしいわけですね。ありがとうございます。

原町田六丁目若葉会

中心市街地のまちづくり、一生懸命やっていただいていることは、中心市街地活性化協議会の会長もやったことがありますので、この計画自体をつくった段階から見ておりますので、本当にありがたいなど。

ところで、先日、下北沢の駅舎が下に入りまして、あの上を、電鉄の敷地の中を整備する計画を現地の商店街の人の説明を受けながら聞いてきたのですが、今、私が言いたいのは、事業手法として何か計画をつくると、そこから先は行政がやっていくという発想ではなくて、やっていく段階で企業だったり地域住民と一緒に計画の変更も含めてやっていくというやり方ができないのかというのが最近私が非常に心配していることです。それが1つです。

もう一つは、電柱の地下埋設をやっていただいておりますが、町田は実は小田急の駅と原町田大通りとの間もあります。そちら側については今後どうしていくつもりなのか。町田一番街、町田二番街、あるいは中央商店街、ある特定の所有者がいて、その中に道路が入っているので、公道ではないという話があってトラブルも起こっています。こういった部分について、今後この計画の次の段階として、駅前の再開発も聞いていますし、モノレールの駅舎のことも聞いていますが、その辺の地域の道路をどうしていくのか、どうお考えになっているのか、お聞かせください。よろしく申し上げます。

(司会) 地区連合会副会長

地域住民または民間企業も含めた開発手法についてのお考えを行政側から。

原町田六丁目若葉会

下北沢について言えば、小田急電鉄が開発に非常に関わっている。びっくりしたのは、商業施設もあるのですが、ナショナルチェーンを入れないとい

う判断を小田急がしているのです。恐らく日本の小売業は、これからナショナルチェーンで全部通る時代ではなくなってくる。つまり、地方都市に行けば行くほど、地域の産業と地域の経済をどうやってつくっていくかということを作り出さなければいけない時期に、大手の企業は、鉄道事業者がもう考え始めていることを考えますと、行政の考えだけではなくて、企業の考え方だったり、あるいは市民の皆さんが緑を大切にするために150団体も一緒に参加をしているのです。そういう手法が今後取れないのか、すみません、言葉が足らなかったなので、よろしくをお願いします。

道路部長

民間や市民が入った、まちづくりの事例を申し上げますと、一つの例として、南町田グランベリーパークは東急と町田市が共同で行いました。もともと区画整理が終わっているところをどのようにするかから始めて区画整理手法を取り入れたり、地元の住民の方に何十回か説明しながら、ご意見も取り入れて一緒になって考えてあれだけのものができました。町田市としては一つの成功事例だと考えておりますが、いろいろなケースによって皆さんや企業と手を組んで一緒にやるということは今後もやっていきたいと考えています。

今は鶴川駅で小田急電鉄と一緒に鶴川駅の再整備を行っていますが、その中では役割分担で、鉄道施設、商業施設の部分を小田急に担っていただいて、都市基盤の部分を町田市でやっていきます。もちろん、住民の方には説明を尽くしながら、ご理解をいただいた上でやっていく形になります。市民の方からのご意見等も積極的に取り入れながら、できる範囲でやっているとは市は考えています。

あと無電柱化の話について、原町田大通りから小田急の間をどうするのかですが、現在、町田市では無電柱化計画をつくっています。主に中心市街地や、新しくつくる都市計画道路、消防署の前の通り等をやっていきます。今、小田急から原町田大通りのところが計画に入っていたかどうか、今手元になるので微妙ですが、中心市街地は景観も大事になりますので、可能な範囲でやっていきたいとは思っています。今後、再開発の動き等もございいますので、動向を見ながら、どこをやっていくか選定は必要になってくると思っております。

原町田四丁目第二地区街づくりの会

今般、文学館通りの整備計画については、道路部長、都市づくり部長、皆さんのおかげでいよいよ実現の方向になってきたことで地元としても大変うれしく思っております。

実は先日、10月22日に文学館まつりが行われまして、そのときにこの

通りの新しい姿についてのPRかたがた、皆さんのご意見をいただくパネルを展示しました。そして、通りすがりの皆さんから、こんな町にしたい、こんな通りにしたいという意見をいろいろいただきました。それは単に商店が増えてほしいということではなくて、子どもさんの通学路でもあり、お年寄りの買物に行く道筋でもあるので、安全性とかゆとりの空間、ベンチ等を設置したり、あるいは最近非常にあちこちで広がっています子どもへの食事の提供とか、子育ての見守り、高齢者の見守り等、これから将来的なニーズがいろいろ発生してくるものに対して、文学館通りもうまく対応できるように、市にお願いするだけではなくて、地域の住民も巻き込んで一緒に考えていくような姿をこれからつくっていきたいと思っておりますので、それぞれの部署の皆さんからもよろしくお力添えをいただきたいと思う次第でございます。よろしくお願いたします。

道路部長

これから文学館通りの整備に入り、完成予定の2029年までお時間をいただく形になります。可能な範囲でということになりますけれども、例えばベンチ等は歩道が2mとか2m50で非常に狭いこともあり、厳しい部分もあります。それ以外で何かできることがあれば、またお声がけいただければ検討はさせていただきます。

原町田四丁目第二町会

いろいろ都市計画が進んでいるようで楽しみだな、生きている間に実現してほしいなとつくづく思ったのですけれども、実は心配がありまして発言させていただいたのです。このところ、町田の商店街の繁華街でネズミを見かけるのですが、人が通っているときにも出てくるのです。私が通ったときに、あっと思ったら、若者が後ろでネズミの出る町田という発言をしているのを見てぞっとしたのです。まだみんなが大通りを通っているときに出てきたのです。また、今度はあけぼの病院の通りの付近で昼間、ちよろちよろと道路を横断しているのです。まず、現状をご存じかどうかということと、そういう汚い町になって評判が落ちてしまったらおしまいだと思ふのです。どこでどのように対策を練っているのか、まだ対策をしていないのか。今聞いたら地権者とかいろいろな方がいらっしゃるので難しいと思ふのですが、当面は汚い町よりきれいな町に、みんなで取り組めばできるのではないかと思ふのです。熊の話も、あつという間に全国に広まりました。ネズミで広まるのは嫌だなと思ふていますので、よろしくお願したいと思ひます。

(司会) 地区連合会副会長

本日の議題からは大分離れているので、本日の議題に対応する市の幹部の

方たちには、難しいご質問だったように思います。

原町田四丁目第二町会

でも、排水溝等は道路と関係があるのではないのでしょうか。

道路部長

ネズミ自体の対策は多分保健所だと思いますが、原因としては餌の発生源がどこにあるのか。例えば店舗の食べ残しだったり、道路の側溝は通り道にはなり得るかもしれませんが、水が流れていますので、発生源になることはないです。むしろ食べ物が発生する場所はどこか。ネズミはマンションの中とか団地の中に発生する場合があります。きっと餌がどこかにあるのだろうと思っています。一軒一軒の積み重ねの中で駆除して、絶対数を減らしていくのか、ねずみ算と言うくらい、1匹見ると爆発的にいるのだろうと想像はつきますが、通り道としては、排水設備の検査をしていたらネズミが走っていったこともありますので、温かいところにいるケースもあります。多分今できることは、これは私の想像で恐縮ですが、一軒一軒食べ物があるところとか店舗も含めて、食べ残し等をネズミの餌にならないよう工夫が必要だろうと思っています。

(司会) 地区連合会副会長

本日の議題から大分外れているのですが、司会者の私の全くの私見ですが、今お話があった餌になるものを出しているのは、ごみを出している地域の住民なのです。もしかすると、これは行政にボールを投げるよりは、地域で自分の周りでごみの出し方等をもう一度見直すことが一番大切なのかもしれないと思うところもあります。その中で行政にいろいろな形のサポートをしていただく。地域の住民だけではどうしても情報量が足りないから、こんなことをやったほうがいいのかもしれないとか、こんな方法がありますよという情報をいただきながら、地域と行政で一緒になってネズミがすむ町田と言わせないようなことができればと、全くの個人的な意見ですが、ぜひとも町内会活動にご協力をいただきながら、町内会の会員を増やしていけばと思っていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

原町田六丁目町内会六生会

我々は月1回パトロールを行っているのですが、その拠点として民間交番を利用させてもらっています。我々以外にも、いろいろな団体があそこを拠点にパトロールをしていると思うのですけれども、もう少し具体的な計画の内容が分かればお聞かせ願いたいと思います。

経済観光部長

今の民間交番を建て替えた後、どういう役割を果たすのか議論をしているところです。今イメージとして持っているのは、まちの情報発信、できるかどうか分からないですが、滞留空間で多少飲み物の提供等ができるのかなというイメージで構想しております。地域の方が防犯パトロール等々に参加していただいているのは存じ上げております。そういう拠点で言うと、ぽっぽ町田等も活用しながら、防犯等の活動も盛り上がり落ちないように進めていきたいと思っています。

原町田六丁目町内会六生会

今までみたいな民間交番の機能はなくなるということですか。

経済観光部長

民間交番という呼び方はなくなると思いますが。そうはいいながら、地域の防犯活動の盛り上がり落ちないように、いろいろ考えていかなければいけないというのは認識しております。

原町田六丁目町内会六生会

我々の意見交換の場はもうないということですか。我々から、どうせ建て替えるのだったら、このようにしてほしいとか、こういう機能があったほうがいいのではないかな等、要望を聞き入れる場はないということですか。

経済観光部長

情報発信だとか飲み物の提供みたいなまちのにぎやかしの一助になるようなことで市としては考えております。また、防犯活動のところは、それはそれとしていろいろなところでお話を聞きながら、どういうやり方がいいのか住民の方と一緒に考えていければ良いと認識しています。

(司会) 地区連合会副会長

何らかの形で防犯活動をしている方たちの意見を聞く場が今後あり得ると判断してよろしいのでしょうか。

防災安全部長

今回、民間交番については12月末をもってという形で今こちらも動いてはいるのですが、今、言われるように、ここについて中心市街地の皆様方と市役所の中で、どのようなパトロールの仕方がいいのか、お話はさせていただきながら継続していきたいと考えております。今、第一踏切の久美堂の前でところで出発式をやったり、ぽっぽ町田でやったり、ターミナルセンター

でやったり、いろいろ場所を変えながらさせていただいているところがございます。どこを中心としてやっていけばいいのか、今後いろいろとお話を頂戴しながら進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(司会) 地区連合会副会長

防災の担当部長がいらっしゃったので、よく相談をしていただきながら、いい調整ができればと思います。

原町田四丁目第二地区街づくりの会

去年末ぐらいに原町田大通りの在り方、どうしたら市民に親しんでもらえるか、皆さんでワークショップを開いたときの答えが今そこに現れた一つの道路の使い方だったと思うのです。そのほかにもっと簡単にできることで、駅から芹ヶ谷公園、国際版画美術館までのバリアフリーの道を明確にサイン計画で流れを知らせていただきたいと思うのです。そうしませんと、皆さん、芹ヶ谷公園を目の前にしながら、どこに行ったらいいのでしょうかという質問をいつも受けるのです。ですから、そのようなことがないように、この道からこの道を通っていけば安全に行けます、帰りは、この道を通ったら、こんなことがありますよというところを印で明確にしていだければ、もっと外部の方が町田に来ていただくきっかけにつながっていくと思います。それぐらいのことでしたら早急にできるかと思っておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。

道路部長

駅から芹ヶ谷公園のバリアフリーの道として、サインを入れていくということだと思います。将来的には、原町田大通りの延伸事業によって問題なく一直線で行ける形になります。当面の間ということであれば、公園や美術館等と相談しながら、どのような形のサインが好ましいのか、その辺は調整をさせていただきたいと思っております。

(司会) 地区連合会副会長

質問者に確認をしたいのですが、標示を出してくれということで、場合によっては道路にマーキングをすることも含めてのご質問ということでしょうか。

原町田四丁目第二地区街づくりの会

そうです。ポケモンのマンホールとか、昔、国際版画美術館のタイルが今の文学館通りに何m置きかに並んでいたのです。今はもちろんなくなってしまいましたけれども、ああいうものとかマンホールとか、あるいはちょっと

した看板でもいいのですが、そういうもので示していただきたいということ。

それから、車椅子で国際版画美術館へ行く方はあまり見かけませんが、少なくとも現在の遊歩道につながっていくような道筋が皆さんに分かるような形であれば、どんな形でもよろしいかと思えます。

市長

答弁ではないのですが、今から言うことは職員が困ることなので、どうしようかと考えたのですが、少なくともバリアフリーということは当事者が参加しないと意味がないのです。ですから、市の職員が企画をして当事者団体、目の見えない人とか耳が聞こえない人、もちろん車椅子の方もいらっしゃいます。そういう人たちの団体に参加していただいて駅から芹ヶ谷まで行ってもらい、あるいは芹ヶ谷からこっちへ来てもらうということをやって、職員はビデオや写真を撮ったり記録しながら、それぞれの団体から意見を聞いてもらうイベントを少なくとも数回やらないと、バリアフリーの計画は、後でああすればよかった、こうすればよかったとなってしまうので、一番最初にやるべきことだと思います。

原町田四丁目第二町会

体に障がいがある方以外にも、来街者は中心市街地から芹ヶ谷へ行って帰ってこられないこともあるので、この地域では芹ヶ谷界限というマップも地域の住民で作らせていただいております。障がいを持っている方も健常の方も、初めて町田に来られる方も、全ての方に一つの方策で解決するのは非常に難しいと思えます。ちょっとしたヒントでそれぞれの方たちが地域の資源である芹ヶ谷公園と中心市街地を楽しんで帰っていただけるような町にできればいいなと思って地域でも頑張っています。行政の方と一緒にこれからも活動していきたいと思えますので、よろしくをお願いします。

原町田六丁目町内会六生会

原町田大通りの計画についてもう1点お聞きしたいのです。荷さばき箇所が7か所出ているのですけれども、現状、荷さばきというのは、原町田大通りは中央通り、駅前の町田一番街、町田二番街の商店街の荷さばきにも使われているわけです。7か所がいいのかどうか一つ疑問です。そこでできない荷さばき車が商店街の中に入ってくる可能性も出てくるわけです。ですから、この7か所が整合性が取れているのか私は疑問です。あと、まちづくり公社も荷さばき場があるので、そこも活用するのかどうか。実証実験のときはたしか大通りの荷さばきのためにぼっぽ町田を使っているのです。この7か所でできるのかどうか。公社の荷さばき場を使用するのか。できてすぐのときは荷さばきの車が右往左往することもあると思うので、そのときの警備

体制等を考えているのかどうか確認したいと思います。

経済観光部長

荷さばき場は7か所設けました。最初はもう少し少なかったのですが、地元の事業者のご意見も踏まえて、荷さばき場を1か所増やした経過がございます。この7か所で全部回るのか、全部シミュレーションを出しているわけではないのですが、道路構造的にもこれが目いっぱいなのかなど。荷さばきのところで言いますと、少し様子を見ながらになるかと思いますが、場合によってはルール化をすとか、公社のぽっぽ町田の荷さばき場のお話も出ましたけれども、荷さばきの機能として、そのためにある施設でもありますので、それらも含めて少しでも円滑にできるように対応等を考えていきたいと思っています。

原町田四丁目第二町会

原町田大通り、いろいろな形でにぎわいを考えていらっしゃるのですが、多分店舗、要は喫茶店ができることになれば、水道が必要になったり、その後の下水の処理が必要になってきます。道路に水道の栓を出すのが難しいのは承知の上ですが、原町田大通りに人を集めるということであれば、今回の整備の中で水の供給、下水の処理の施設も含めて考えていただければありがたいと思っています。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

それでは報告します。いくつか話したいと思います。

子どもの政策ですが、保育園は今年4月で30人が待機児童です。三多摩で町田の待機児童数は3番目に多い状況です。ほかは保育園の定員が空いてしまって、今度は保育園を運営している人が困っている状況に今ほかの市はなっています。大括りの話で言うと、コロナの最中は出生率が下がっています。何年か前に出生数100万人を切ったと大きな話題になりましたが、その後、コロナの最中に80万人を切った、えらいことだと。去年はとうとう80万人も切ってしまいましたので、非常に出生数が下がっています。ただ、町田市の場合も、もちろん同じように出生率は下がっているのですが、外から0～14歳の子どもたちがたくさん転入してきていますので、その分で待機児童が出ているというのが実態です。

学童保育クラブも待機児童ゼロになりました。これは逆に言うと、ほかの25の多摩の市の中は、学童保育クラブはかなり待機児童がいます。小学校に上がったときに学童保育クラブに入れなくて、今までパートに出ていたけ

れども、仕事を辞めなければならなくなった。つまり、1年生でそのまま家に帰ってくるような状態になってしまって、主に母親ですが、仕事を辞めるケースが出ています。これは多摩では普通の話です。町田市では、待機児童ゼロなものですからあまり話題になっていませんが、三多摩ではかなり待機児童、つまり小1の壁というのが話題になっています。

その次に4つ目、東京都立の児童相談所の町田市内設置が決定しまして、今のところ、まだ正式な発表はないので分からないですけれども、再来年ぐらいには町田児童相談所というのができると聞いています。現在、八王子から例えば原町田に来る。主な仕事が虐待の疑いの調査なのです。直接親御さんと会わなければならない。親御さんが働いていると早くて午後6時半とか7時に面談をして、8時に終わって、それから八王子に帰るといふ仕事の仕方をしています。ですから、非常に大変ですし、時間が取れないということで、虐待ケースを防ぐにも、近くに児童相談所がないとうまくないということで、長年要望してきてやっとそこが決まりましたということです。

去年7月に小山田桜台にできましたが、成瀬地区に再来年度、2025年度になると思いますが、新しい児童館ができます。今の計画では、あとは金井方面まではやろうかと思っています。ちなみに、児童館をやめている市はたくさんあるのですが、新設している市は日本全国でほとんどありません。児童館としては町田の子どもセンターまあちの4分の1ぐらいの規模で造っています。

新たな学校づくりは、当面、この地域は学童保育クラブがたくさんできて校庭が狭くなっている町田第一小学校ぐらいで、統合するみたいな話はありませんが、ほかの地域ではあります。

給食センターができます。町田・忠生・小山をカバーするものは、2025年、再来年の1学期から中学生全員給食になります。一番早いのは堺中学校で、来年度の2024年、あと10か月後ぐらいには堺中学校の全員給食が始まります。

忠生にスポーツ公園が9月にオープンしました。また、小山上沼公園や本町田後田公園にもグラウンドができました。それから、東京都が約150億円以上かけてやっています西田の金森調節池の上部が2027年、3年半後にスポーツ施設としてオープンします。

(仮称)国際工芸美術館ですが、この前、入札不調になりましたので、今ここに書いてある2026年9月はさらに半年ぐらい遅れて、2027年3月ぐらいまで行きそうです。先ほどバリアフリーの話がありましたが、公園内のエレベーターを2027年度完成で造ろうとしています。バリアフリーでずっと公園の中を来て一番下のレベルまで、分かりやすく言うと、車椅子でずっと駅から来て国際版画美術館なら国際版画美術館の前まで全部車椅子で来られる設計になっております。それが一つです。先ほどもお話ししまし

たが、目の見えない人だとか、いろいろな人がいまして、最近はいろいろな技術が発達しています。いろいろな情報が入ってくる杖のようなものもありますから、そういう意味ではバリアフリーもいろいろな新しい技術を使って案内ができるのではないかと思います。

鶴川駅も着々と工事が進んでいます。駅の南北に自由通路を造ろうとしております。

2026年、あと2年少したちますと、容器包装プラスチック、あるいは包装と言ったほうがいいかもしれませんが、プラスチックが分別になります。これは市域全域です。今、JR横浜線の南側でやっているのですが、町田市域全域がプラスチック分別に変わります。分別収集で新しくピンクのごみ袋を買ってもらうことになっています。今はごみ袋の色は、黄色と緑ですが、もう1色、ピンクがあって、それが容器包装プラスチックです。ただし、黄色のごみ袋の半分の値段を手数料として徴収させていただくことになっています。ですから、分別開始の1年前ぐらいには、小学校から始めてあちこち分別の仕方の講習会みたいなものが必要ですので、ご協力いただきたいと思っています。

実は、町田市は三多摩26市のうちで資源化率は下から3番目です。その一番大きな要素は容器包装プラスチックの分別収集ができていないことです。ですから、これをやって何とかもう少し上に上がろうということになります。やっと相原地区にビン、カン、プラスチックの施設ができることになっていますが、それでもまだ全部にはできませんので、それを待たずに2026年度から容器包装プラスチックの分別収集になります。ご協力いただきたいのですが、容積で言うとごみの3分の2ぐらいはプラスチックです。切ったハムを買ってもプラスチックに入っていますし、魚もトレーに入っている。食べ物の生ごみはほとんどなくて、例えば私の家のごみ箱を見てもほとんどプラスチックです。最近、私はリンゴの皮も食べているので、リンゴの皮もないので、芯ぐらいしかごみはないですから、黄色のごみ袋は3分の1ぐらいになってしまうのではないかと思います。

先ほどスポーツ公園の話をしました。町田市として方針を打ち出していないのですが、芝生の管理をしっかりとやろうと今方針転換をしよう。都市づくり部長がいますけれども、忠生のスポーツ公園は、この時間でもまだ子どもが遊んでいます。午後3時を過ぎるともう子どもであふれているようです。あそこは何が魅力かという、2cmぐらいに芝が刈り込んでいるのです。びっしり平らに切っている、そこででんぐり返しをしようが何をしようが構わない芝生で、今のシバヒロの3倍ぐらいの広さでありますので、物すごく人が集まっています。そこに小さいテントを持ち込んでピクニックをやっている親子から500mのトラックを走っている人、バスケットのスリーオンスリー、テニスの壁打ちもみんなあるので、ものすごい人数が毎日来て

います。支えているのは芝生です。

翻って、高ヶ坂都営の跡は芝の管理が悪いのです。ちゃんと芝の手入れをしないと3年ぐらいの間に芝が消えてしまうのです。あそこはほぼ消えかかっています。あれだと草が出っ張っていたり、裸の土が出てきたり、ごちゃごちゃしていて、高ヶ坂都営の跡は芝生の中でくつろぐという雰囲気がだんだんなくなってきています。ああやっていくと人が集まらなくなってしまいます。周りには人がいるわけだから、しっかり芝生管理をしなければいけない。3か月に1遍刈っていたのではだめで、毎月ぐらい刈らないとだめなので、そのように転換をしなければいけないと思います。そうすると、高ヶ坂の上の広場は、子どもがいっぱい遊ぶ公園になると思います。今ある財産とか資産、シバヒロだけではなくて、子どもも含めてあちこちにいろいろな人たちが使える広さのものをつくっていきたいと思っています。

さっき学校統廃合の話がありましたが、例えば校庭は1.5haぐらいあるわけですから、3分の1使っても残りの1万㎡ぐらいは芝生にはなるわけです。学校跡地の活用の一つの方策でもあるかと思っています。今言った話は全部私の話で市の方針になっていないので、市の方針にするのは都市づくり部長の役目です。でも、シバヒロだけというのはつまらないです。ほかにもたくさんああいうところがあったほうがいいかなと思っています。

《質疑》

原町田六丁目若葉会

FC町田ゼルビアが1部に昇格して、野津田のグラウンドはどうなるのか気になっています。それだけ教えてください。

市長

町田GIONスタジアムは、行っていただくと分かるように、ものすごくレベルのいい芝生の管理をしてあります。帰りに1時間以上待つのではないかと、行ったところで交通渋滞で試合が始まってしまうのではないかと等、言われています。交通の問題はこれから試合が始まりますとかなり大変です。

原町田六丁目若葉会

サイバーエージェントがほかの球場に移してしまうのではないかとという心配の意見も聞きます。

市長

それはオーナーとしては考えているかもしれませんが、ただ、町田の人としては、まちのスポーツ、まちのサッカークラブとして出てきたわけだから、ルーツがなくなってしまうのはサポーターとしても非常に困ります。新しい

ところに移ってもサポーターがいるわけではないから、そういう意味ではそんなことはないと思います。

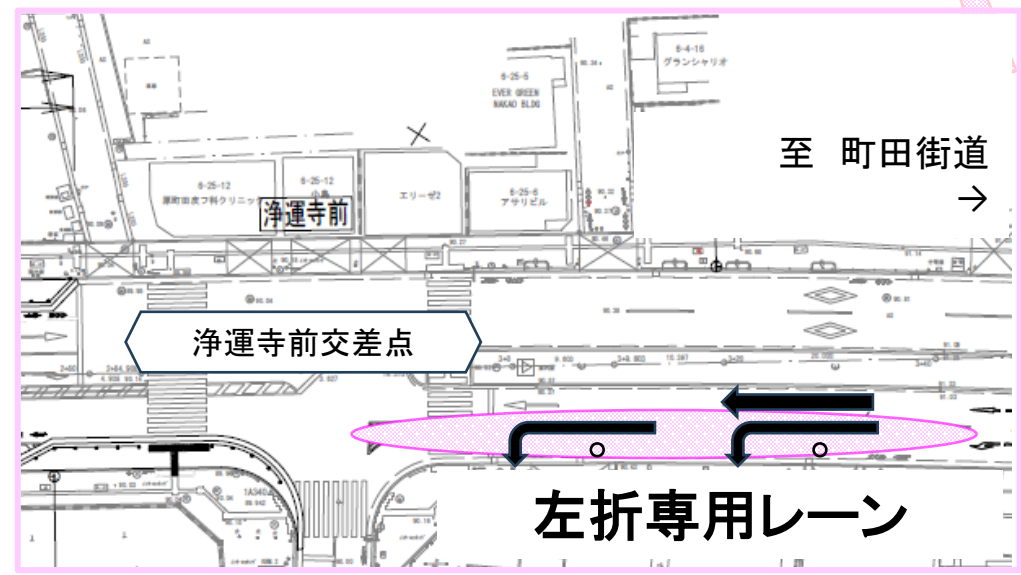
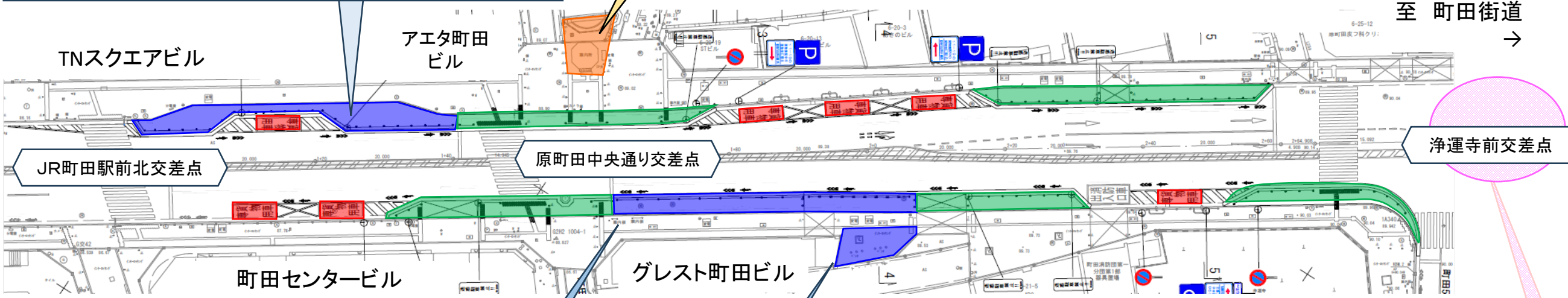
○閉会の挨拶（町田第一地区町内会・自治会連合会）

【資料】原町田大通り滞留空間整備 概略図



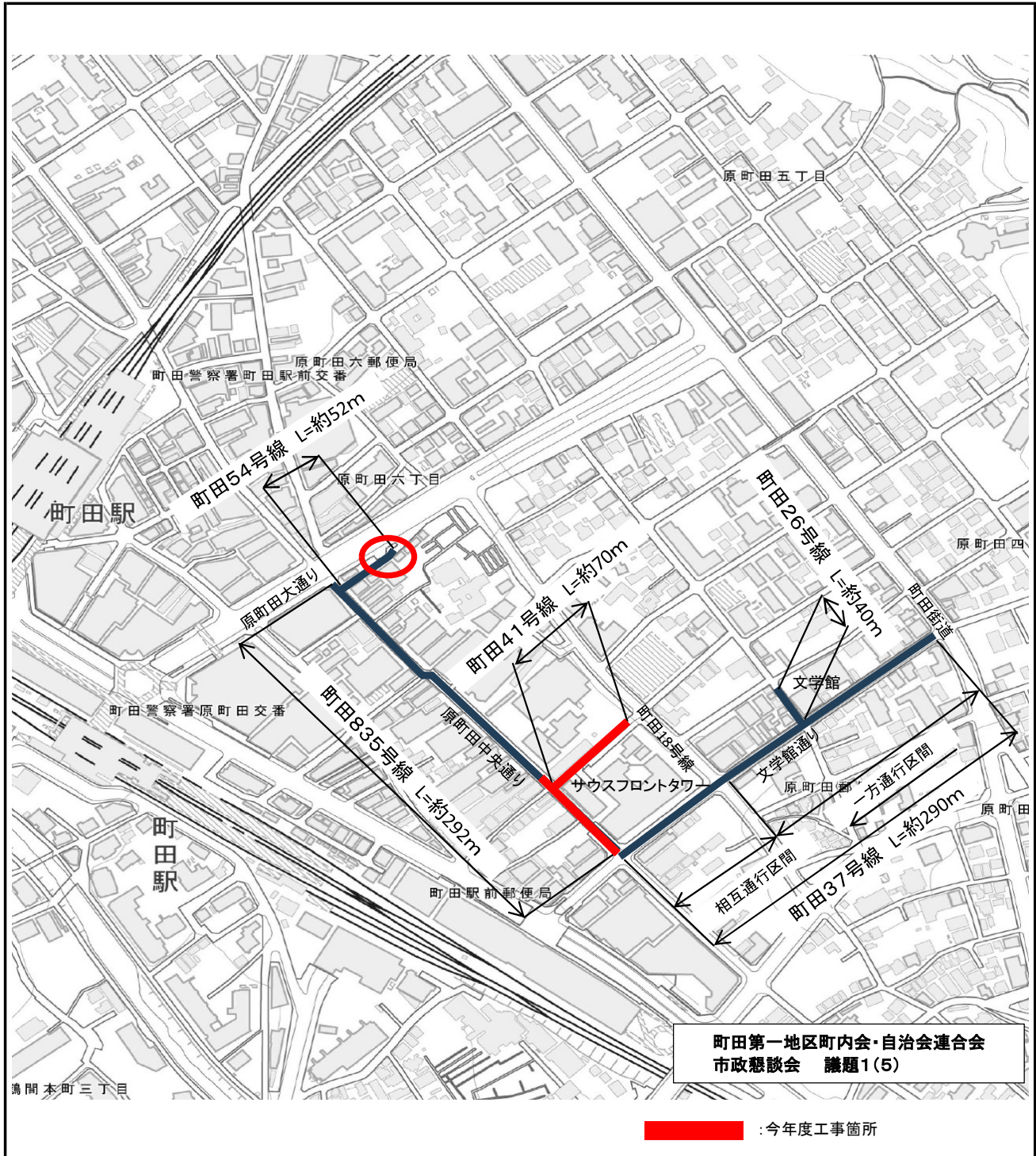
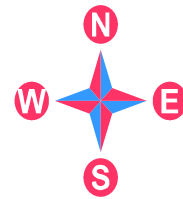
凡例

- 滞留空間(歩道拡幅+α、ポケットパーク)
- 歩道拡幅箇所
- 荷捌き
- 交流拠点(現・民間交番、まちだの泉)



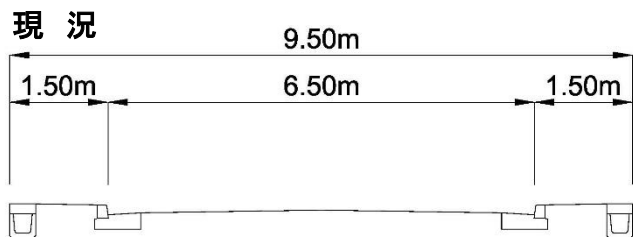
町田835号線(原町田中央通り)・町田37号線(文学館通り)

案内図



断面図

区間 1



区間 2

